

CEREC REPORT.

2019.December



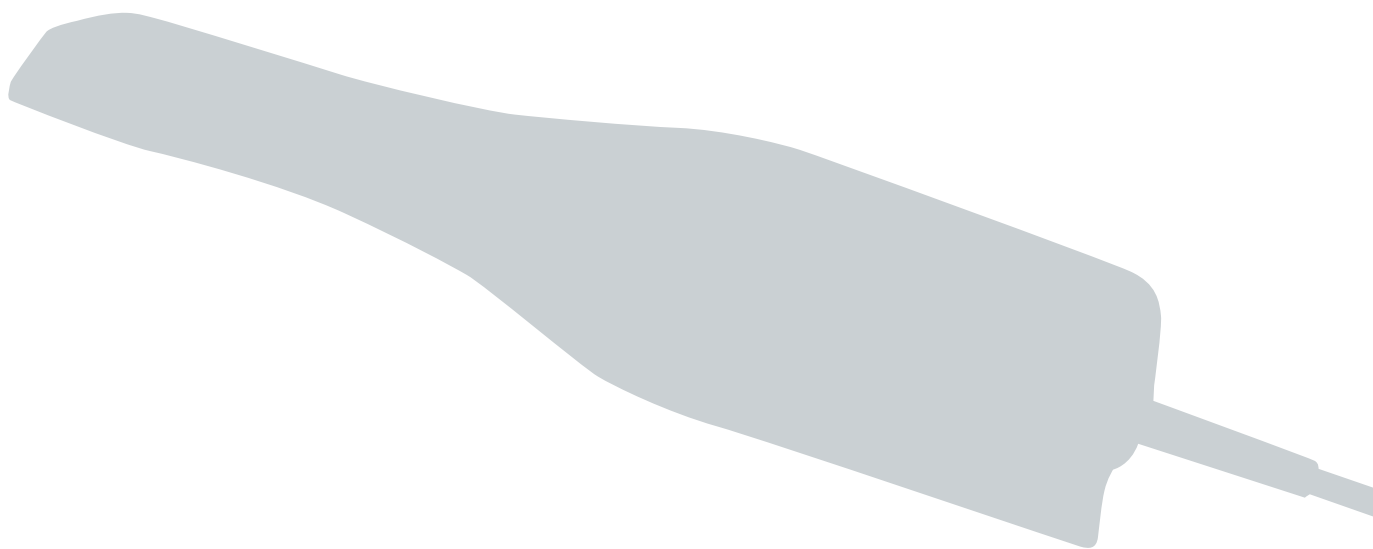
東京都中央区
医療法人 有歯会
八重洲歯科診療所
院長
中村昇司 先生



千葉県我孫子市
医療法人 勇清会
みなと歯科医院
院長
湊勇人 先生



埼玉県蓮田市
医療法人 一九会
ロータス歯科クリニック
理事長
阿部順一 先生





先生が
口腔内スキャナー
「Primescan」を
選択した理由を
お聞かせください



東京都中央区

医療法人 有歯会
八重洲歯科診療所 院長

中村 昇司先生



誤解を恐れず言えば、 愛着ではなく、 私自身の20年以上のエビデンスです

デジタルの利点の一つは 誰がやっても同じ良い結果を出せること

先日、新人の臨床研修医に「Primescan」を使ってもらったところ、一回目でスキャンが成功しました。デジタルCAD/CAMの本懐でもある、誰がやっても良い結果を同じように得られる、というところにより近づいたのではないのでしょうか。一方で、簡単に撮れてしまう分だけ、エラーがあっても器械がなんとかしてくれるという甘えが、最終的には不適合の原因になります。ルールに沿った形成、口腔内の唾液除去、歯肉の圧排など事前準備をしっかりと行うことはもちろん必要です。

「CEREC」=「One visit Treatment」から、 ニーズの多様性に合ったシステムへ

元々「CEREC」は、「One visit Treatment(即日治療)」が基本コンセプトです。当院では、CERECシステムを最大限有効に活用すべく、できることはチェアサイドのOne visitで、できないことはラボサイドで、という棲み分けをしています。しかし、今は多様化の時代です。ラボとのコミュニケーションをさらにスムーズに図れる無料のクラウドサービス「コネクトケースセンター」も確立されていますので、先生方の診療スタイルに合わせて選択されるのもよいと思っています。おそらく多くの先生方が日常臨床で行うのは、1本から3本程度のクラウンやブリッジではないでしょうか。それを自院完結型のCERECシステムを導入するのか、それとも、スキャナー単体のみを導入して、データをラボに送るというスタイルを選択するのか。どちらを選択するのであっても、デジタル化への移行は今後免れない流れです。デジタルデータを使用すれば、補綴はもちろんインプラントの診査、埋入、上部構造、さらには睡眠時無呼吸症の診査に

も使える。予想される保険への広がりを考えてみても、導入に迷いはないと思います。

根底にエビデンスがある

CERECを20年以上、ずっと使い続けている理由というのは、あえて言えば、CERECに愛着があるかということ、そうではないんですね。私は、自分自身で、つたないながら結果を出してきました。私の中で20年を超える症例があるということは、臨床上的エビデンスがあるということ。自分の信条とか愛着とか好きとか嫌いとかではなくて、客観的に患者さんに良いものだとかわかっている。だからCERECを使っているのです。自分の中で確固たるエビデンスがあって、長期予後に関しても分かっているからこそ使っているということをかちんとお伝えしたいと思います。

今あるデジタルCAD/CAMのエビデンスというのは、そのほとんど全てがCERECによるものですよね。他にデータがあるものでも、10年あるかないか、ではないのでしょうか。ですから、CERECこそがエビデンスベースドメディスンだと考えています。

製品の信頼性だけではない アフターフォローサービスのスキルの高さ

私が、デンツプライシロナ製品を選ぶ理由は、(前身の)シロナは日本にできて15年以上、実績がありますよね。そして、サービスの方、アフターフォローの方々がよく製品をわかっている。困った時にパッとアドバイスをいただける、デンツプライシロナのアフターフォローサービスのスキルの高さというのも大きい要因の一つです。

限りなく実物に近く、 伝えたい情報がリアルに表現された画像

全顎のケースを撮影したところ、とにかくスキャンが速いスムーズでした。前機種「Omniscan」では、複数回カメラで歯列をなぞらないと画像が構築されなかったのですが、「Primescan」で撮影すると、画像が次々と構築されていくのがわかります。

ほかのスキャナーと比べると、「Primescan」の画像は、必要な口腔内情報が再現されており、同じ“きれい”でも、私たちが見たい所、伝えたい所がちゃんと“リアルに表現されているきれいさ”があります。とあるインプラントの症例で、その部分だけを撮影したところ、隣在歯のカリエスマできれいに写っていて、患者さん自ら「やっぱりここも直さなきゃいけないね」とおっしゃっていました。

限りなく実物に近く、コントラストがはっきりしていて、見たい部分の色調がしっかり表現されている。だから、わかりやすいんですね。ちなみに、全顎のケースは学会で発表したのですが、会場にいた先生方からの反響がすごかったですね。

なぜデジタル化が必要なのか

インプラント症例における「Primescan」を活用したフローは、スキャンアバットメント『IO FLO』を撮って、DDSC-Tokyo(品川区大井にあるデジタル製品の製造所)へAWO(アトランティスウェブオーダー)を使用しアバットメントを注文。アバットメントの設計データである「コアファイル」を先に受け取って上部構造を事前に院内で作製し、アバットメントが納品され、患者さんにセットします。「コアファイル」は、非常に簡便ですね。自分でカスタムアバットメントのデザインをチェックできる点もそうです。出来上がった「コアファイル」を使ってCERECミリングでクラウンを自分で作る、

しかも自分で素材をチョイスできるという点もメリットだと思います。

デジタルを何のために使うかと言ったら、早くするために、時間を超越するため、時間をかけてやるのなら、アナログで十分。患者さんは1日で終わってほしいと思っているわけだし、ドクターが凝って作るものだから良いというものではなくて、受け手がうれしいものを私たちは作らなければならない。形だけではなくて、そこに付加価値としてスピードがあると私は思っています。

スピードも然りですが、デジタル化によって、何種類もシリコン印象材を用意しておくとか、サイズ別にディスプレイのトレイを準備する必要がなくなります。模型の管理もそうです。スタッフの感染をはじめとした衛生的な心配もいらない。口腔内スキャナーの導入は、トータルして考えても、コスト的にも時間的にも十分満足できるものになると思います。シリコン印象に代わるデジタル印象、これを入りにデジタル化をはじめるといってもありかもしれません。

包括的歯科治療へ

昨今、介護の問題であったり、あるいは、矯正の審美の話であったり、歯科医もある一つの断片だけに特化してできれば良いという時代ではなくなりつつあります。包括して一通り全部できなければならないということに対しては、デンツブライシロナのコンセプトでもある、デジタルトータルソリューションを提供するというコンセプトは、歯科治療においても、今後より求められていくのではないのでしょうか。

千葉県我孫子市

医療法人 勇清会
みなと歯科医院 院長

湊 勇人先生

「精度」「スピード」、これらがもたらす
その先にある付加価値

埼玉県蓮田市

医療法人 一九会
ロータス歯科クリニック 理事長

阿部 順一先生

「Primescan」で、できることが さらに広がることに期待して。 患者さんが喜ぶ治療を提供するために。

粘膜など不要な情報を自動でカット 作業効率のさらなる向上に

撮影が広範囲にできるようになり、最後方歯遠心部や歯頸部・歯間部が撮りやすくなったので、前機種「Omnicam」からカメラ部分が大きくなったことによる、撮影自体への支障は特にはないですね。むしろ、粘膜などの不要な情報を自動でカットする「AIスキャン」など新しい機能が増えて、効率アップに非常に寄与してくれています。

当院には技工士がいて、「Primescan」を使って、チェアサイドで患者さんに直接説明をする機会があるのですが、その時の患者さんからの反応がとて良いそうで、本人もやりがいを感じているようです。患者さんと直接コミュニケーションをとるということは、自身のテクニックの向上にもつながりますので、とても良い相乗効果だと思っています。

目に見える治療で 患者さんの理解度を高める

「Primescan」を初めて見た患者さんは、みなさん『おぉっ』という顔をします。タッチパネルで操作して画像を動かすと、特に若い女性の方は、チェアから身を乗り出して画面をのぞき込んだり、とても興味を示してくれます。自分は先進的な治療を受けている、そんなインパクトがあるのではないのでしょうか。

今後は、初診の患者さん全員に、口腔内写真ではなくて、口腔内スキャナーで撮影した画像でカリエスや歯石など口腔内の状態を、一緒に見てもらうことを検討しています。「Primescan」になって、フルマウスの撮影も速くなったので、早々に実現したいと思っています。患者さんが鏡を持って口腔内を見てもらっても、レントゲン

の画像を見てもらっても、なかなか実感していただけないというのが実情だと思います。「Primescan」であれば、画像にリアリティがあるし、口蓋側／舌側など通常であれば見えない部分も画像を動かして見てもらうことが可能なので、患者さんの理解度も高まりますし、とても期待しています。

デジタルCAD/CAMは もはや当たり前時代に

正直言って、これまで使っていた1代前の機種である「Omnicam」に全く不満はなく、撮影のスピードなども含めて、口腔内スキャナーのほぼ完成形かなと思っていましたので、「Primescan」を購入する予定はありませんでした。ただ、実際に見て触ってみて、即購入を決めてしまいました。他のスキャナーももちろん触りましたが、補綴に関してはこれが一番ではないでしょうか。私は「Omnicam」のさらに前機種である「Bluecam」から含めて、9年くらいデジタルCAD/CAMを使ってきていますが、今やこれらが無い診療は想像できません。当院に勤務をしていた先生2人がそれぞれ開業した時、2人ともCAD/CAMを導入しましたが、そのうちの1人は、これが無かったら開業時つぶれていたかもしれない、と話しています。

もちろん、大きな投資にはなりますが、自費診療をある程度やっている医院であれば、技工代の軽減にもつながり、十分ペイできると思います。今は保険のCAD/CAM冠もできますし、今後さらにその範囲は広がっていくはずで、システム自体も使いやすくなっているし、導入を迷う理由は今のところないと思います。



一般の名称：チェアサイド型歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニット 販売名：セレック プライムスキャン AC
承認番号：30100BZX00044000 管理医療機器 特定保守管理医療機器

デンツプライシロナ株式会社

本社 / 〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布借成ビル

■支店・営業所

■札幌支店	Tel:011-709-5800	■大阪支店	Tel:06-6243-6636
■仙台支店	Tel:022-266-4020	■広島支店	Tel:082-546-2301
■埼玉支店	Tel:048-799-2931	■福岡支店	Tel:092-518-1800
■東京支店	Tel:03-5148-7895	■盛岡営業所	Tel:019-604-2340
■横浜支店	Tel:045-440-1521	■庄内営業所	Tel:0235-29-1217
■名古屋支店	Tel:052-251-8467	■静岡営業所	Tel:054-653-2711